

# Lecture 授業No.22 教科書P.39～

T.Q.「『インドシナ』のインド文化とは？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校  
地歴公民科教諭

# 直前予習 T. A. キーワード確認

## 教科書 P.40・41

T.Q. 「『インドシナ』のインド文化とは？」

1. **グプタ朝**
2. **アンコール=ワット**
3. **パガン朝**
4. **上座部仏教**
5. **スコータイ朝**

クリックで全て



# 今日の授業ラインナップ。

1. 東南アジアへのインド文化と中国文化の影響
2. インドシナ半島(大陸部)の歴史的ルーツ
3. インドネシアetc. (諸島部)の歴史的ルーツ

## 2 東南アジア

西からインド文化

東から中国文化

### ① インドシナ半島

ex. **ドンソン文化**

ベトナム北部

#### a ミャンマー

(7C~9C | ピュー王国...まだピュー人)

...稲作文化。

11C | **パガン朝**...今のミャンマー人で初

青銅器とセット

#### b タイ

T.Q.「『インドシナ』のインド文化とは？」 ※1 教科書P.39~

(7C~11C | ドヴァーラヴァティー王国...まだモン人)

cf. a・b では**小乗仏教**さかん

#### c カンボジア...今の**クメール人**=カンボジア人

1C末~7C | **扶南**(ふなん)...ローマや中国と交易。港は**オケオ**

6C~15C | **カンボジア王国**

ex. **アンコール=ワット** ※2①②

...初めヒンドゥー教→後に**大乘仏教**

6C~15C

カンボジア王国

ex. アンコール=ワット

...初めヒンドゥー教→後に大乘仏教

ここから

d ベトナム 中南部

(2C~17C

チャンパー王国...まだチャム人)

e ベトナム北部...10Cまでは中国の支配下に  
唐が滅亡

cf. d・e では中国文化が強い ∴ 大乘仏教がさかん

## ② 諸島部

T.Q.『『インドシナ』のインド文化とは?』

教科書P.39~

f インドネシア

7C~14C

シュリーヴィジャヤ王国(スマトラ島)

cf. 8C、唐僧義浄の来訪

※T. A. まとめスライドへ

9C

シャイレンドラ朝(ジャワ島)を吸収

ex. ボロブドゥール... 大乘仏教寺院

※3①②

最後のスライドはここまで!

銅鼓(ドン  
ソン文化)



クリックで、  
現代の銅鼓(中国)

祭りに使用された青銅製の太鼓。  
稲作, 鉄器とともに中国南部, 東  
南アジアに広く分布する。



現代の銅鼓 中国



※2①  
NEXT

クリックで、  
全景

中央は世界の中心「須弥山」<sup>しゆみせん</sup>を、周壁はヒマラヤ山脈を、  
環濠<sup>かんごう</sup>や大池は世界の果ての大海を象徴しており、ヒンドゥー教の宇宙観を表現する。





カンボジア国旗

↑ アンコール=ワット正面

⇨ レリーフの天女(アプサラ)の舞(左)と、カンボジアの古典舞踊アプサラ=ダンス

※ [2②back](#)



クリック①:カンボジアの国旗    クリック②:カンボジアの古典舞踊

※3①next

## ボロブドゥール遺跡(斜め上から)



クリックで、写真

高さ42m・辺120mの正方形の**世界最大の仏教遺跡**。8世紀～10世紀ころこの地を統治していたシャイレンドラ王朝の王により建造。**1814年に発見されるまで約1000年ものあいだ、地中に埋もれていた**。火山爆発説その他の説があり、世界七不思議の一つとされる。

一説、「<sup>おが</sup>丘の上の僧坊」の意。元の高さ42m。  
シャイレンドラ朝が建立し、1814年に再発見された

→ 仏塔の中  
にある仏像



※ 3②

back

クリックで、  
曼荼羅



→ 日本に伝わった曼荼羅 まんだら



## Lecture 授業No.22

T.Q.「『インドシナ』のインド文化とは？」

インド文化が1世紀ころからインドシナ半島へ伝わった。9～12世紀に建てられたアンコール=ワットなどの遺跡の建造物には、ヒンドゥー教・大乘仏教の信仰に基づくインド文化の強い影響と共に土着文化の独創性がよく示されており、カンボジアの国旗にもなっている。